

第57回 中国四国リハビリテーション 医学研究会

第52回 日本リハビリテーション 医学会 中国・四国地方会

プログラム・抄録集

会期 2024年 **12月1日** 

会場 **山口県健康づくりセンター**
(山口県総合保健会館内)

会長 **坂井 孝司**

山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部 部長
山口大学大学院医学系研究科 整形外科学 教授

第57回中国四国リハビリテーション医学研究会
第52回日本リハビリテーション医学会 中国・四国地方会
開催にあたって

第57回中国四国リハビリテーション医学研究会
第52回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会

会 長 坂井 孝司

山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部 部長
山口大学大学院医学系研究科 整形外科 教授

第57回中国四国リハビリテーション医学研究会および第52回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会の開催をさせていただきますことを、たいへん光栄に存じます。本会開催にあたり、多くのご支援を賜りました皆様、ならびに一般演題にご応募いただいた会員の皆様に、心より御礼申し上げます。皆様のご協力により、地方会では26題、研究会では25題と多数のご応募をいただきましたこと、重ねて感謝申し上げます。

現在、リハビリテーション医学・医療の役割はますます重要となっており、介護や福祉の領域を含むその範囲は広がっています。本会では「運動器リハビリテーション」に焦点を当て、2題の教育研修講演を予定しております。まず、大阪医科薬科大学・医学部・総合医学講座・リハビリテーション医学教室 教授 佐浦隆一先生に「バイオ・JAK 阻害薬時代の関節リウマチのリハビリテーション医療」と題し、関節リウマチに関するご講演をいただきます。さらに、令和6年4月より周南公立大学・人間健康科学部・スポーツ健康科学科 教授に就任された小笠博義先生に、「リハビリテーションスタッフに知ってもらいたい成長期のスポーツ外傷と障害」についてご講演いただく予定です。

12月の山口市は盆地ゆえに例年雪がちらつく季節となります。寒さを吹き飛ばすような熱い発表と活発な議論が交わされ、ご参加いただく皆様にとって実り多き学会となることを祈念いたします。何卒よろしく願い申し上げます。

ご 案 内

1. 参加者の皆様へ

- 1) 当日は備え付けの参加登録票^{*}に必要事項を記入し、受付で参加手続きをしてください。
※参加登録票(PDF)は学会ホームページからも事前にダウンロードできます。
- 2) 受付にて参加費3,000円をお支払いの上、名札を受け取り、所属・氏名を記入し、必ず着用してください。名札のない方の入場はお断りいたします。
- 3) 地方会会員の方には受付で抄録集をお渡しします。研究会会員の方には事前に抄録集を配送しますので、当日は抄録集をご持参ください。抄録集をお忘れの場合は、1冊600円にて販売させていただきます。
- 4) 各学会の研修単位申請を希望される方は受付にて手続きを行ってください。
- 5) 中国四国リハビリテーション医学研究会に入会を希望される方は新入会受付にて手続きを行ってください(日本リハビリテーション医学会中国四国地方会の当日受付はありません)。
- 6) 学部学生(大学院生を含む)および専門学校生は参加費が免除になります。受付で学生証(身分証)を提示ください。

2. 演者の皆様へ

- 1) 発表形式は Windows 版 Microsoft PowerPoint2019で再生可能なファイルで作成してください。
- 2) スライドショーでのスライド枚数に制限はありませんが、6分間の発表時間に収まるように調整してください。討論時間は3分間です。
- 3) 作成されたプレゼンテーション用 PowerPoint ファイルは、ファイル名を「演題番号 + 氏名 + 地方会または研究会」としてください(例:06、山口太郎_地方会)。
- 4) 使用フォントは Windows 基本 OS に標準搭載のフォントを使用してください。特殊フォントや機種依存性文字は使用しないでください。スライドサイズはワイド画面(16:9)で作成してください(標準画面(4:3)で作成された場合、ずれが生じる可能性があります)。
- 5) ファイル作成後、他のパソコンで正常に作動するかチェックしてください。ファイルのアップロード前にウイルス駆除ソフトでチェックをお願いします。ファイルは2024年11月18日(月)までに、本会のホームページの「演者の皆様へ」内の「アップロード」に入り、オンライン登録してください。
- 6) 登録後に修正が発生した場合は、必ず事務局へ連絡後に再アップロードしてください。修正期限は2024年11月18日(月)までとさせていただきます。期日以降のスライド修正は受け付けませんので、あらかじめご了承ください。
※ご連絡がない場合は修正前のファイルでのご発表になる場合があります。
- 7) 登録頂いたファイルは、本会終了後に事務局が責任をもって消去します。

- 8) 事前登録されたプレゼンテーション用 PowerPoint スライドの当日試写はありません。また学会当日にスライド変更の受け付けは致しませんので、あらかじめご承知おきください。

3. 座長及び演者の皆様へ

セッション開始10分前までに次座長席、次演者席にお着きください。座長の皆様にはご担当セッション内で活発な討議が行われますよう、お取り計らいください。

4. リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医の皆様へ

本会では、生涯研修単位を、学会参加でリハビリテーション科専門医師は1単位、認定臨床医は10単位、教育研修講演1、2でリハビリテーション科専門医は各1単位、認定臨床医は各10単位合計でリハビリテーション科専門医は最大3単位、認定臨床医は最大30単位を取得できます。なお、教育研修講演にて単位取得ご希望の方は、受付にて各講演1,000円をお支払いください。また、地方会発表の筆頭者はさらに、リハビリテーション科専門医は1講演1単位、認定臨床医は1講演10単位が取得できますので、「専門医・認定臨床医単位取得自己申請用紙」に添付して「発表等の証明となるもの」もしくは「抄録集の表紙及び抄録掲載頁のコピー」を日本リハビリテーション医学会事務局へ送付してください。なお、地方会でご発表をされて、専門医試験を受けられる方へ「地方会発表証明書」を発行いたします。ご希望の方は、受付にてお渡しいたしますのでお申し付けください。

5. 日本整形外科学会専門医の皆様へ

【専門医の方】

教育研修講演1(【6】【13】【Re】)、講演2(【2】【13】【S】)の受講により教育研修単位を各1単位取得できます。単位取得をご希望の方は、受付にて各講演1,000円をお支払いのうえ、各講演開始10分前から開始後10分後までに、日本整形外科学会の会員QRコードを第1会場入り口付近の単位申請受付用コンピューターのQRコードリーダーにかざして受講登録を行なってください。開始後10分を過ぎて手続きが完了していない場合には単位取得はできません。

【研修医の方】

研修手帳をお持ちの方も、日本整形外科学会の会員QRコードで受講登録を行うため、日本整形外科学会ホームページの会員専用画面の単位取得履歴に記録が残ります。

このため、研修医手帳に受講証明印を受ける必要はありません。研修医手帳には、該当する分野のページに必要事項を記入し、受講証明印の欄に「会員QRコード」または「HP参照」と記入してください。更新時には、日本整形外科学会ホームページの取得履歴と照合します。当日の受講登録方法については、専門医と同様に会員QRコードで手続きを行なってください。

6. 理学療法士の皆様へ

日本理学療法士協会生涯教育基礎研修のポイントは取得できません。

7. 作業療法士の皆様へ

日本作業療法士協会生涯教育基礎研修において、参加・発表で各1ポイントが取得できます。参加者本人が参加証明書(領収書)を添付資料として、会員ポータルサイトから受講履歴登録を行なってください。

8. 言語聴覚士の皆様へ

日本言語聴覚士協会生涯学習プログラムの参加・発表で各1ポイントが取得できます。生涯学習プログラム終了申請の際に、本会 WEB 配信ページ上にてダウンロードいただいた参加証明書や領収証(コピー可)を言語聴覚士協会事務所までご提出ください。

9. セラピストマネージャー認定看護師の皆様へ

回復期リハビリテーション看護師・認定セラピストマネージャー認定資格更新のためのポイント付与対象になります。参加者ご自身で各コースポイント申請月に申請手続きをお願いします。(回復期リハビリテーション看護師認定者は8月、セラピストマネージャーは1月)ポイント申請の手続き方法はオリエンテーションテキストまたは、ホームページ専用サイト「リハ看護師の広場」、「セラピストマネージャーの広場」にてご確認ください。

10. 理事会・幹事会のご案内

役員の皆様は11時45分～12時45分 第3会場(第2研修室)にお集まりください。

11. 総会のご案内

12時50分までに第1会場(多目的ホール)にお集まりください。

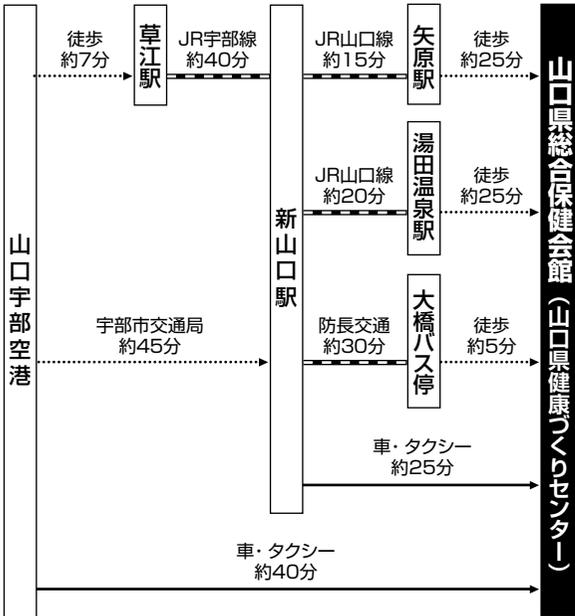
12. 駐車場について

会場の駐車場(無料)をご利用ください。ただし満車の場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

13. 医療機器の展示

2F ロビーにて医療機器の展示を行います(9:00～16:30)。

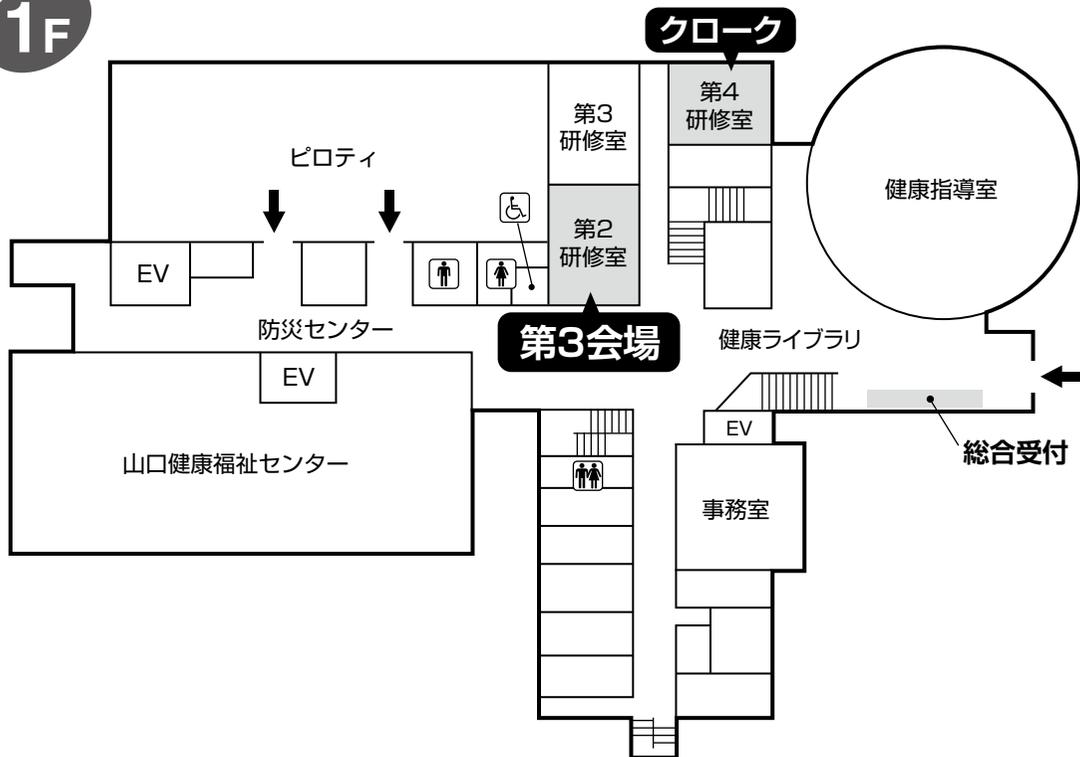
交通案内図



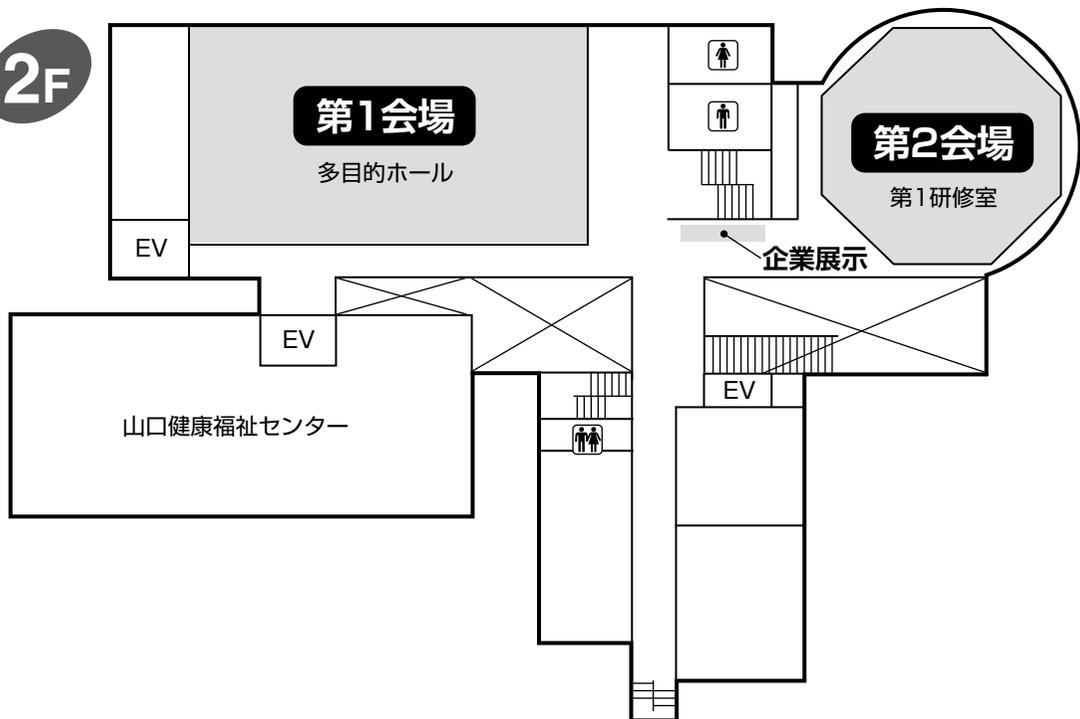
- 大会や研修会の参加者は専用駐車場、又は臨時駐車場をご利用ください。(会館敷地内の駐車場は、原則として講師・来賓のみとさせていただきます。)
- 多目的ホール・第一研修室をご利用の際には駐車場の誘導をお願いしています。参加者は誘導係の指示に従ってください。

会場案内図

1F



2F



日 程 表

12月1日(日) 山口県健康づくりセンター

	第1会場 2階 多目的ホール	第2会場 2階 第1研修室	第3会場 1階 第2研修室	展示会場 2階 ロビー
8:30	8:30~ 受付			
	8:55~ 開会挨拶			
9:00	9:00~9:45 地方会1(01~05) 座長：白石 元	9:00~9:54 研究会1(27~32) 座長：矢木田 早苗	9:00~9:45 研究会3(37~41) 座長：水野 航作	9:00 } 16:30 企 業 展 示
10:00	9:45~10:30 地方会2(06~10) 座長：西田 周泰	9:54~10:30 研究会2(33~36) 座長：小西 尚則	9:45~10:30 研究会4(42~46) 座長：木下 大介	
11:00	10:40~11:40 教育研修講演1 佐浦 隆一 先生 座長：坂井 孝司			
12:00			11:45~12:45 理事会・幹事会	
13:00	12:50~13:20 総会・表彰式			
14:00	13:30~14:30 教育研修講演2 小笠 博義 先生 座長：油形 公則			
15:00	14:40~15:25 地方会3(11~15) 座長：黒川 陽子	14:40~15:25 地方会5(22~26) 座長：坂本 相哲	14:40~15:25 研究会5(47~51) 座長：金井 和明	
16:00	15:25~16:19 地方会4(16~21) 座長：関 万成			
	16:20~ 閉会挨拶			
17:00				

プログラム

開会挨拶 8:55～9:00 第1会場(2階 多目的ホール)

会長 坂井 孝司(山口大学医学部附属病院 整形外科 リハビリテーション部)

地方会1 9:00～9:45 第1会場(2階 多目的ホール)

座長：白石 元(周南記念病院)

- 01** 移乗介助における経験者と未経験者の視覚的評価の比較
山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部 西田 周泰 16
- 02** 蛋白質摂取量が患者に及ぼす影響について 一腎機能、FIM の観点から—
西広島リハビリテーション病院 三尾 仁人 18
- 03** 摂食嚥下機能回復体制加算の算定について—体制の構築と患者の検討—
島根県立中央病院 リハビリテーション科 山本 佳昭 20
- 04** COVID-19による自粛期間を経た高齢者の身体機能変化
高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部 中前 杏 22
- 05** 回復期病棟における標準訓練コードを用いたリハビリテーション治療の実態調査
公立みつぎ総合病院 リハビリテーション科 品末 典也 24

地方会2 9:45～10:30 第1会場(2階 多目的ホール)

座長：西田 周泰(山口大学医学部附属病院)

- 06** 腰椎術後10年以上続く腰痛に対してピラティスを行った1例
社会医療法人凌雲会 稲次病院 リハビリテーション科 佐藤 紀 26
- 07** 脊髄損傷に対する回復期リハビリテーション治療中に筋内血腫を発症した4症例
広島市立リハビリテーション病院 脳神経内科 櫛谷 聡美 28
- 08** 急性弛緩性脊髄炎下肢麻痺の自然回復と対側閉鎖大腿神経移行術の長期結果
山口県厚生連小郡第一総合病院 整形外科・リハビリテーション科 土井 一輝 30
- 09** 急性弛緩性脊髄炎に対する膝関節伸展機能再建術のリハビリテーション
山口県厚生連小郡第一総合病院 リハビリテーション科 丸山 昭男 32
- 10** EndoBlade™ Soft Tissue Release System を用いた下腿三頭筋筋膜切離術の小経験
鼓ヶ浦こども医療福祉センター 整形外科 黒川 陽子 34

- 11** 高齢前庭機能障害患者の運動指導による身体機能の経時的改善
岡山大学病院 総合リハビリテーション部 堅山 佳美 36
- 12** 脳梗塞後の左下肢麻痺患者に調節式二方向ばね補助継手(HAJ4)を使用した1例
医療法人社団生和会 福山リハビリテーション病院 リハビリテーション科 永金 周臣 38
- 13** 単回の高強度運動療法が脳梗塞患者の血中 IL-6・BDNF 濃度に及ぼす影響：
3例報告
ちゅうざん病院 リハビリテーション科 近本 哲士 40
- 14** デモンストレーション型症例検討会は、
脳血管障害患者の FIM Effectiveness 改善に有効である
愛媛大学医学部附属病院 リハビリテーション科 岡島 幹篤 42
- 15** Brain Machine Interface 訓練機器を併用した
Constraint-induced movement therapy を行った重度片麻痺の一例
川崎医科大学 リハビリテーション医学教室 高田 佳輝 44

- 16** 高齢者脛骨高原骨折に対して人工膝関節置換術を行い、
早期離床リハビリテーションを行った症例の検討
山口県立総合医療センター 整形外科 沼 昌宏 46
- 17** 人工膝関節置換術における中枢感作症候群の経時的変化についての検討
山口大学大学院 医学系研究科 整形外科学 関 万成 48
- 18** 手術進入法は人工股関節全置換術後の自覚的脚長差に影響するか？
山口大学大学院 医学系研究科 整形外科学 川上 武紘 50
- 19** 人工股関節全置換術前後での下肢自然肢位における股関節回旋変化
— 足部回旋に着目して —
周南記念病院 整形外科 山崎 和大 52

- 20** THA 患者における術前活動量が術後の回復にもたらす影響
—3軸加速度計を用いた活動量評価—
山口大学大学院 医学系研究科 整形外科科学 金岡 丈裕 54
- 21** 人工股関節全置換術前後における下肢筋肉量、Phase Angle の経時的変化
山口大学大学院 医学系研究科 整形外科科学 笹木 慶 56

地方会 5 14:40～15:25

第2会場(2階 第1研修室)

座長：坂本 相哲(小郡第一総合病院)

- 22** 術後に顕著になった AO 分類 TypeC1 大腿骨骨幹部骨折に対して
リハビリテーションを行った一例
広島共立病院 リハビリテーション科 近藤 豪 58
- 23** 肩腱板修復術後に6週間外固定、
術後3週目から他動運動を開始した場合の治療成績
山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部 油形 公則 60
- 24** AI-ピン[®]を用いた尺骨茎状突起骨折の治療経験
JA 山口厚生連小郡第一総合病院 整形外科 坂本 相哲 62
- 25** 電撃性紫斑病による四肢切断患者に対して義肢装着訓練を行った1症例
川崎医科大学附属病院 リハビリテーション科 荒木 慧 64
- 26** 中足骨骨折術後の速やかなリハビリテーション治療によって
メダルを獲得したパラアスリートの1例
広島大学病院 リハビリテーション科 卜部 真利子 66

研究会 1 9:00～9:54

第2会場(2階 第1研修室)

座長：矢木田 早苗(山口労災病院)

- 27** オーラルフレイルの有無に影響する因子の検討
高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部 矢野川 大輝 68
- 28** ICU-ASD と気管切開による嚥下障害を呈し、経口摂取再開に長期間を要した一例
島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部 熊谷 英岳 70
- 29** 嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査が治療方針に有用であった気管食道瘻の1例
山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部 河本 哲 72

- 30 喉頭水平部分切除術後の重度嚥下障害に対するリハビリテーションの経験
徳島大学病院 リハビリテーション部 久野 恵 74
- 31 人工呼吸器管理中から早期介入し常食摂取および自宅退院可能となった一例
周南記念病院 リハビリテーション科 藤川 奏 76
- 32 理学療法士が行う患者の状態変化の把握が
Platypnea-Orthodexia Syndrome 診断の一助となった症例
山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部 光田 真緒 78

研究会2 9:54~10:30

第2会場(2階 第1研修室)

座長: 小西 尚則(山口大学医学部附属病院)

- 33 ロボット支援前立腺全摘除術後における骨盤底筋トレーニング効果の短期成績報告
徳島大学病院 リハビリテーション部 近藤 心 80
- 34 脊髄損傷完全四肢麻痺者における最大酸素摂取量の経年変化
吉備高原医療リハビリテーションセンター 中央リハビリテーション部 関戸 敦史 82
- 35 腰部脊柱管狭窄症術後患者における
早期の基本動作獲得と術後3カ月の患者立脚型アウトカムとの関連
鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部 竹森 大紀 84
- 36 腰部脊柱管狭窄症患者の転倒発生に関連する腰椎の運動学的特徴の検討
鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部 和田 崇 86

研究会3 9:00~9:45

第3会場(1階 第2研修室)

座長: 水野 航作(山口大学医学部附属病院)

- 37 痛みの時間的加重は人工膝関節全置換術の遷延性術後痛を予測できる
高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部 小田 翔太 88
- 38 クリニカルパスの短縮が人工股関節全置換術後患者の
退院時身体機能と術後3か月 JHEQ に及ぼす影響
山口県立総合医療センター リハビリテーション部 松下 慎也 90
- 39 移乗動作指導を行い自宅退院に繋がった
左大腿骨転子部骨折を伴った原発性骨髄線維症の1例
順天堂大学医学部附属練馬病院 リハビリテーション科 益原 真弓 92

- 40 多職種連携により山間部地域へ退院支援を行った1例
社会医療法人創和会 重井医学研究所附属病院 リハビリテーション科 中尾 千穂 94
- 41 術後早期からのリハビリテーション治療が有効であった肝肺症候群の1例
広島大学病院 診療支援部 リハビリテーション部門 高桑 翼 96

研究会4 9:45～10:30

第3会場(1階 第2研修室)

座長: 木下 大介(長門総合病院)

- 42 糖尿病を有した肩関節周囲炎に対して
サイレントマニピュレーション後に可動域制限が再発した1例
医療法人悠和会 だて整形外科リハビリテーションクリニック
リハビリテーション科 西原 翔真 98
- 43 投球障害の予防に向けた動作観察についての一考察
～当科受診患者の傾向と文献的考察から～
山口県厚生連小郡第一総合病院 リハビリテーション科 藤井 俊充 100
- 44 手根管症候群における
母指掌側外転力の Hand-Held-Dynamometer による定量測定の内信頼性
山口県厚生連小郡第一総合病院 リハビリテーション科 保井 規忠 102
- 45 超音波画像を用いた手内在筋厚測定の内信頼性の検討
徳島大学病院 リハビリテーション部 中野渡 友香 104
- 46 手関節不全切断再接着術後に長期ハンドセラピーを行い仕事復帰に至った症例
山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部 池田 諭 106

研究会5 14:40～15:25

第3会場(1階 第2研修室)

座長: 金井 和明(山口大学医学部附属病院)

- 47 術前化学療法時の隣癌患者における運動機能および身体活動量に関する調査
広島大学病院 診療支援部 リハビリテーション部門 中島 勇樹 108
- 48 骨転移後人工骨頭抜去した症例の作業療法経験
周南記念病院 リハビリテーション科 田中 佐和 110
- 49 食道がん術後6か月目大腰筋体積と術前ガム咀嚼トレーニング実施日数との関連
岡山大学病院 歯科・予防歯科部門 山中 玲子 112

50 化学療法奏効し、自宅退院、外来治療への移行が可能となった
AYA 世代がん患者の理学療法経験

山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部 上利 誠人 114

51 食道癌術後患者における
集中治療室専従理学療法士配置前後の離床状況と主要アウトカムの比較

山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部 水野 航作 116

教育研修講演 1 10:40～11:40 第1会場(2階 多目的ホール)

座長：坂井 孝司(山口大学医学部附属病院)

[バイオ・JAK 阻害薬時代の関節リウマチのリハビリテーション医療]

佐浦 隆一 先生 大阪医科薬科大学 医学部 総合医学講座 リハビリテーション医学教室

理事会・幹事会 11:45～12:45 第3会場(1階 第2研修室)

総会・表彰式 12:50～13:20 第1会場(2階 多目的ホール)

教育研修講演 2 13:30～14:30 第1会場(2階 多目的ホール)

座長：油形 公則(山口大学医学部附属病院)

**[リハビリテーションスタッフに知ってもらいたい
成長期のスポーツ外傷と障害]**

小笠 博義 先生 周南公立大学 人間健康科学部 スポーツ健康科学科

閉会挨拶 16:20～ 第1会場(2階 多目的ホール)

会長 坂井 孝司(山口大学医学部附属病院 整形外科 リハビリテーション部)

第57回中国四国リハビリテーション医学研究会
第52回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会
プログラム・抄録集

会 長：坂井 孝司

事務局：山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部内

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1

TEL：0836-22-2266 FAX：0836-22-2267

E-mail：yamadai-reha@yamaguchi-u.ac.jp

出 版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

<https://secand.jp/>